

# 1 回 50 円

## 敬老パス 重い負担

大阪市は1日、70歳以上の市民に交付している敬老パスで、1回乗車するごとに50円の利用者負担を求める制度を開始しました。支払いは一定額をチャージ（入金）したICカードで行うことが原則で、利用者には負担増の怒りとともに、ICカードの利用法をめぐって混乱が起こっています。50円負担導入の初日、市バス乗り場で利用者に話を聞きました。（前田美咲）

## 橋下大阪市政に怒り



### お知らせ

敬老バスご利用の際はチャージ（入金）をお願いします

- 8月1日よりチャージ（入金）額から50円をいただきます。
  - 地下鉄駅の券売機・精算機でチャージ（入金）を行ってください。
  - ※私鉄やJTB自営のICカード対応券売機等でもチャージ（入金）できます。
  - バス→バス、バス⇄地下鉄乗換など、乗換割引が適用される場合は50円でご利用いただけます。
- （乗換適用には条件があります。詳しくは敬老バスコールセンター・市営交通案内センターにお問い合わせください。）

お問い合わせ 敬老バスコールセンター ☎ 06-7660-0543  
【平日9時～17時30分】

▲バス停に張られた、敬老パスの1回50円負担を知らせる案内1日、大阪市大正区・バス停大正橋

大阪市の敬老パス 市内に住む70歳以上の高齢者を対象に、年間3000円の負担金で発行するもの。市営地下鉄・バスを利用できます。従来は無料でしたが、橋下徹市長の下、2013年度に年3000円負担を導入。今回の利用ごとの50円負担はそれに続く負担増です。

# クローズアップ

「何で50円払うのに1000円も入れなあかん」「1000円なくなったらまた足す」と、疑問は尽きません。市福祉局によると、敬老パスを持つ約25万6000人のうち、半数の12万8000人がチャージを済ませていません。（7月1日現在）

大正区南部の鶴町四丁目停留所。朝9時ごろ、通院などに出かけるお年寄りがつえをついたり手押し車を押して続々と集まってきました。区内にある鉄道の駅は一つ。移動はバスが頼りです。

手押し車を押した女性(83)は「病院に行くたびに往復で100円かかるのは大変。3000円払ってるのに毎回50円なんて、パスなんか持っててもなんもならん」と憤ります。

### 健康に悪影響も

「チャージ?」夫婦で出かけるどころだった71歳の男性は、高齢者に負担を強いる分、子ども施策を充実させるといふ橋下市長の説明に「子どもも大事だが、年寄りも大事だ」と子どもと高齢者をてんびんにかけることに疑問を呈します。

ICカードを使う支払い方法にも不満の声が漏れまわった。生野区役所前でバスを待っていた女性(79)は、チャージが必要なことを知らず、朝一番で地下鉄に乗ろうとして改札ではじかれたといいま

日本共産党の北山良三市議団長は▽他政令市には低収入者への負担軽減策がある一方、大阪市内にはない▽大阪市で使えるのは市営交通だけと指摘。「敬老パスの利用料は全て市交通局の会計に含まれる。地下鉄の黒字分は一般会計に繰り入れることができ。繰り入れを行えば、年3000円と1回50円の負担分は必要ない」と述べます。

北山氏は「負担が重くなると高齢者の外出が減れば、本人の健康に悪影響が生じ、町の活力も失われる」とも指摘し、総合的な観点が必要だと強調しています。

## すでに負担金3000円払ってるのに…